

2021年9月吉日

公益社団法人
日本義肢装具士協会 御中

令和3年度厚生労働行政推進調査事業 研究代表者
国立障害者リハビリテーションセンター研究所
中村 隆

研究協力者(被験者)ご推薦・ご紹介のお願い

謹啓 初秋の候、益々ご清栄の事と心よりお慶び申し上げます。
理事在職の際は大変お世話になりました。

この度、令和3年度厚生労働行政推進調査事業費(障害者政策総合研究事業)「技術革新を視野に入れた補装具の構造・機能要件策定のための研究」(研究代表者:中村隆)におきまして、ご協力をお願いしたくご連絡いたします。

ご存じの通り、障害者総合支援法における補装具費の基準価格は、飯田らによる昭和53年度厚生省厚生科学研究による特別研究報告書に基づき算出方法が示されていますが、算出基準が作成された昭和53年からすでに40年以上が経過しています。義肢装具の製作方法や技術も大きく変化し、また3Dプリンタ等の新たな技術の登場により、基準価格算出方法自体の見直しを検討すべきと考えられます。現在、算出に必要なデータは義肢装具製作事業者への聞き取り調査により収集、更新されていますが、今回、下肢装具製作に関する製作時間の検証実験を行うことになりました。実験の詳細につきましては別添説明書をご覧ください。本研究は国立障害者リハビリテーションセンター倫理審査委員会の承認を得て実施するものです。

つきましては、研究協力者(被験者)として貴協会に所属する義肢装具士にご協力をお願いしたく、協力していただける方をご推薦・ご紹介いただけないでしょうか。検証実験は下記概要にて進める予定です。

業務多忙など大変恐縮ですが、ご検討のほどよろしくお願いいたします。

謹白

記

1. 課題:プラスチック短下肢装具、両側支柱付き短下肢装具、長下肢装具の製作
2. 実施期間:10月中旬～令和4年3月
3. 実施日:期間中の土曜日。10:00～16:00。1課題につき2～3日。応相談。
4. 実施場所:国立障害者リハビリテーションセンター 補装具製作棟
5. 募集人員:経験年数10年未満の義肢装具士 3名前後
経験年数10年以上の義肢装具士 3名前後
ただし、一人1課題のみでも可。その場合は3名以上の参加を希望します。
6. 謝金 有り(当センター規定による) 交通費は謝金に含まれます。
7. その他
 - ・ 製作のための道具、機器は準備いたしますが、ご自身の使い慣れている道具を使用してもかまいません。
 - ・ 製作方法は必ずしも指定された方法に限定しません。参加者の技術交流と情報交換の機会としてご利用ください。

【問い合わせ先】

国立障害者リハビリテーションセンター 研究所 義肢装具技術研究部

中村隆 (nakamura-takashi@rehab.go.jp)

Tel 04-2995-3100(内 7189)

以上